



診療内容

外来は、木曜日と金曜日に診療を行っており、木曜日は、主に糖尿病と脂質異常症の方を対象に、金曜日は主に骨粗しょう症の方を対象としています。

●糖尿病について

糖尿病にはインスリンが自分の体から殆どでなくなってしまう1型糖尿病と、生活習慣が大きく影響する2型糖尿病があります。患者さんの割合でいうと、2型糖尿病の方のほうが多く、当センターで対象とするのも2型糖尿病にあたります。消化された糖分は血液で全身に運ばれ、インスリンというホルモンの働きによって、筋肉や脂肪が糖分を取り込んで利用しています。2型糖尿病の方の体のなかでは、インスリンが効きにくくなることや、インスリンの分泌が悪くなることがあり、これにより血糖値があがってしまいます。血糖値が高い状態が持続すると、網膜症（目が見えにくくなる）、腎症（腎臓が悪くなりひどくなると透析になる）、神経障害（手足のしびれ）、動脈硬化といった合併症の原因になります。そこで当センターでは健康診断で早期にみつかった糖尿病の方を主な対象として、初期段階から治療することで合併症の進行予防を目指しています。

<治療>糖尿病の程度によって治療が異なります。糖尿病が軽度であれば、食事内容の見直しと、運動習慣などの見直しをしていただき、必要に応じて飲み薬を飲んでいただきます。糖尿病が中程度であれば最初から飲み薬を始めることもあります。高度な糖尿病であればインスリン注射が必要なため、より高度な専門施設にご紹介することもあります。

●脂質異常症について

脂質異常症とは、コレステロールが過剰に体の中にある状態を基本的にさします。脂質異常症についても、2型糖尿病のように体質と生活習慣の両方が関わる病気です。脂質異常症は、動脈硬化の原因となり、心筋梗塞や脳卒中、下肢動脈閉塞症などを引き起こすこともあります。そこで当センターでは糖尿病と同様に早期から治療を開始することで、これらの合併症を防ぐことを目指しております。

<治療>まずは食事内容を見直すために栄養指導を受けていただき、生活習慣の見直しをしていただきます。それでもよくなる場合は、必要に応じて飲み薬（スタチン製剤など）を処方し、外来で採血の結果を見ながら通院していただきコレステロールを管理していきます。



■食品サンプル



■栄養指導